

# 研 修 報 告

報告日 令和3年8月18日

会 派 名	自治研究会
報告者氏名	村田 幸多朗、布施 学
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	鳥獣被害対策研修会「鳥獣被害の現状と対策について」
日 時	令和3年7月13日（火）13:00～15:00
場 所 (会場)	柏崎市役所 2階 委員会室
概 要	<p><b>【講師】</b> 山本 麻希 先生 ・国立大学法人 長岡技術科学大学准教授 ・NPO法人 新潟ワイルドライフリサーチ副代表 ・㈱ういるこ代表取締役社長 ・環境省 鳥獣保護管理プランナー</p> <p><b>【野生動物の生態と被害対策について】</b> 1. イノシシの生態と被害 繁殖特性：増加率が高い（1.64倍） イノシシ被害： ①農作物被害（ほぼ全部水稻被害） ②生活被害、③交通被害、④人身被害 2. イノシシの被害対策 野生動物被害対策の3本柱： ①被害駆除、②個体数管理、③生息地管理 3. 中型獣類の生態と被害対策 特定外来生物：ハクビシン、アライグマについて</p>
所 感 等	<p>講師の山本様とは当市の農産物に対する鳥獣被害が激増しはじめた6年前よりご指導いただき、その間電気柵の有効的な設置方法等でイノシシ対策に激的な効果をもたらすことができ当時から感謝の気持ちでいっぱいでした。</p> <p>近年イノシシ被害が農作物被害から高齢者や児童等への被害が懸念される中、里山の在りかた等新たな研修内容と、イノシシのみならずアナグマやハクビシンといったイノシシよりも厄介な獣害が出始めてきており、そういった厄介な獣害対策も研修内容に含まれており、山本先生の講義研修内容もより実践的で進歩した研修内容となっており、今回議員の研修という形でお話を聞かせていただきましたが本研修は多くの農業者、農産物生産者や関係機関にも是非お話を聞いていただきたい内容でしたので改めてJAや関係機関に山本先生の講義内容の周知を図って参りたいと同時に農業者大会等いずれかの機会に講師をお願いしたいと考えておりました。</p>